

4 年度 事務事業評価シート

事務事業名	人権対策事業	会計名称	一般会計		担当課	福祉課	
		予算科目	3 款 1 項 5 目	事業番号	1160	所属長名	米湊明弘
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	高内克彦	
法令根拠等	部落差別の解消の推進に関する法律伊予市人権を尊重する社会づくり条例				実施期間	【開始】	令和／平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造					【終了】	令和 年度(予定) ☒ 設定なし
	心の通った社会福祉の推進						
総合計画における本事業の役割	人権対策協議会伊予市支部等が実施する事業の活性化及び円滑な推進を図り、誰もが安心して自分らしく暮らしながら、相互に支え合う思いやりのある地域づくりに寄与する。						
事業の対象	人権施策一般に関する庁内事務経費を主とする。			事業の目的	人権施策に関する補助金・負担金交付事務を主とし、その他臨時的事業を行う。		
事業の内容（整備内容）	愛媛県人権協会負担金・企業連合会負担金・人権対策協議会伊予市支部補助金・その他臨時的経費			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業費及び財源内訳(千円)							事業活動の実績(活動指標)							
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目		単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
財源内訳	直接事業費	7,036	8,841	0	0	0	8,720	各種行事参加者数	人	309	400	120	366	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	8,720							
	県支出金	0	0	0	0	0	0							
	地方債	0	0	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0	0	0							
	一般財源	7,036	8,841	0	0	0	0							
	職員の人工(にんく)数	0.17	0.17				0.17							
1人当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794								
※ 直接事業費+人件費	8,369	10,166				10,045								
主な実施主体		直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金								
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)						5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計			
						8,852	8,852	8,852	8,852	8,852	44,260			
成果指標	指標	人権対策協議会伊予市支部会員の各種定期大会・人権啓発研修会等の事業参加者数	単位	⇒	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度				
			人		目標	400	400	400	400					
	指標設定の考え方	同和問題をはじめ人権全般についての研修会、研究会に参加し、意識改革や実践力の向上と解決をめざして活動する。各種行事等への参加者数が事業の推進を計測する手段と考える。	実績		309	366								
	指標で表せない効果	人の心・気持ち・精神に訴えるものだけに、数値では表せない部分が多い。												

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）		県人権対策協議会伊予市支部、隣保館が相互に連携し、人権・同和教育講座を開催し、人権意識の高揚に努めている。									
事業評価	自己判定 （担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	3	合計点が 14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	A	事業成果・工夫した点 <			

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営最終者判断議	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	